

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-4 高等教育の充実
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	総務部総務課長 山崎 祥	電話番号	0852-22-5011
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	公立大学法人島根県立大学特殊要因経費補助金		
目的	(1) 対象	公立大学法人島根県立大学	
	(2) 意図	法人の自律的な運営を促しつつ、財務上の健全性を保つ	
事業概要	公立大学法人島根県立大学における施設設備整備のうち、緊急かつ大規模な修繕、更新等を要するものに対して補助する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	公立大学法人島根県立大学業務実績に対して公立大学法人評価委員会が行う年度評価の評定平均値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	各年度計画の評定値（1～5）の合計／年度計画項目数	目標値		3.50	3.50	3.50	3.50	点
			実績値	0.00	0.00	0.00	3.50		
	指標名		達成率		0.00	0.00	100.00		%
			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	35,154	78,400
うち一般財源(千円)	35,154	78,400

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度は、以下の修繕を実施。
 ①浜田キャンパス講堂タイル補修工事
 ②松江キャンパス音楽棟内装修繕

6. 成果があったこと（改善されたこと）

①浜田キャンパス講堂は、タイルを修繕することで、剥落する危険がなくなり、对人的な安全性を確保することができた。
 ②松江キャンパス音楽棟は、内装の修繕により、教育環境が改善された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 大規模な改修が必要な対象が他にも多くあるが、改修が追いついていない

②困っている状況が発生している「原因」
 施設の老朽化に伴い、修繕の必要な箇所は段階的に増えていくが、必要な費用を全て措置することができない

③原因を解消するための「課題」
 費用のない中で、優先順位付けをする必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

建物の日常的な維持管理を適切に実施することで、修繕が必要となるまでの期間をできる限り引き延ばす

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）